

平成 29 年 1 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーサイド
代 表 者 名 代表取締役 假屋 勝
(JASDAQ・コード 2330)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 飯田 潔
電 話 0 3 - 6 2 6 2 - 1 0 5 6

連結子会社の商号変更のお知らせ

当社連結子会社のフォーサイドエンタテインメント株式会社は、平成 29 年 2 月 1 日より下記のとおり商号変更することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当該子会社の概要（変更前）

(1) 名 称	フォーサイドエンタテインメント株式会社
(2) 所 在 地	東京都中央区日本橋室町三丁目 3 番 1 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 假屋 勝
(4) 事 業 内 容	スマートフォンアプリ開発及び運営 広告メディア販売及び企画運営 ソリューションプラットフォーム開発及び運営
(5) 資 本 金	3,000万円

2. 商号の変更について

(1) 新 商 号

フォーサイドメディア株式会社（英文名 Forside Media Co., Ltd.）



(2) 変更の理由

当該子会社は、従来に株式会社モビぶっくで担ってきたデジタルコンテンツビジネスの中から、スマートフォン向けアプリケーション事業を専門的に行うこととし、平成 27 年 4 月 8 日に新規設立した連結子会社であり、様々な企業との業務提携を実現し、主に各種メディア系サービスに関連する事業を推進して参りました。

このたび、更にその事業の展開エリアをグローバルに拡大し、特に成長機運の高い ASEAN 地域を中心に進出することといたしました。そのような中、今後開拓する世界各国での協業パートナーやユーザーに対して事業内容を明確にする為にも、「Media（メディア）」

を冠した商号に変更することが得策と判断いたしました。

日本国内においては、2010年がスマートフォン元年とも呼ばれ、欧米圏を含めた先進諸国では、現在大半のモバイルユーザーがスマートフォンを利用し、4G等の高速通信網やWiFi通信等を利用し、様々な音楽や動画等のエンタテインメントコンテンツを視聴したり、SNSサービスを活用してコミュニケーションを豊かにしています。

しかしながら、ASEAN地域やその他周辺の新興国においては、大都市圏内においては多くのユーザーがスマートフォンへの切り替えを行っているものの、未だに地方地域においてはフィーチャーフォン等の前世代携帯電話や、2G等の従来から提供されている音声通話を中心としたモバイル通信の利用が中心となっている地域が多く残っております。

また、世界中で無料音声通話やメッセージ送受信が可能なSNSメッセージングサービスが多くユーザーに利用されており、街中では各種主要施設や交通機関等で公衆WiFiサービスが急激に普及し始めています。よって、各国のモバイル通信網やデバイスを提供する電話会社(モバイルキャリア)にとっては、従来まで主軸であった音声通話サービスやモバイルデータ通信提供等から、新たなビジネスモデルへと事業転換と多角化が急務となっております。

そこで当該子会社では、スマートフォンユーザー同士のメッセージングサービスを効率化して通信容量を圧縮できる機能や、効率的な広告配信及びコンテンツ配信等を行うことができる、モバイルキャリア向けソリューションプラットフォームを開発しており、ASEAN各国を中心としたモバイルキャリアへの提供を行うことといたしました。

このように、各国のモバイルキャリアに対して、ビジネスモデルを拡張することが可能なソリューションプラットフォームを提供することが、各キャリアユーザーによるスマートフォンへの機種変更や、4G等の高速通信契約への切り替えを促進し、世界中のモバイルユーザーのコミュニケーションを豊かにすることと、デジタルコンテンツ市場の成長の一助となることと考えております。

そのような背景から、今般の商号変更に関しては、グローバル市場における当該子会社のブランド力を高めると共に、さらなる効果的な事業展開を目指すものであると考えており、当該子会社においては、今後も各国モバイルキャリアへのソリューションプラットフォーム提供等を邁進してまいります。

(3) 商号変更日

平成29年2月1日

以上